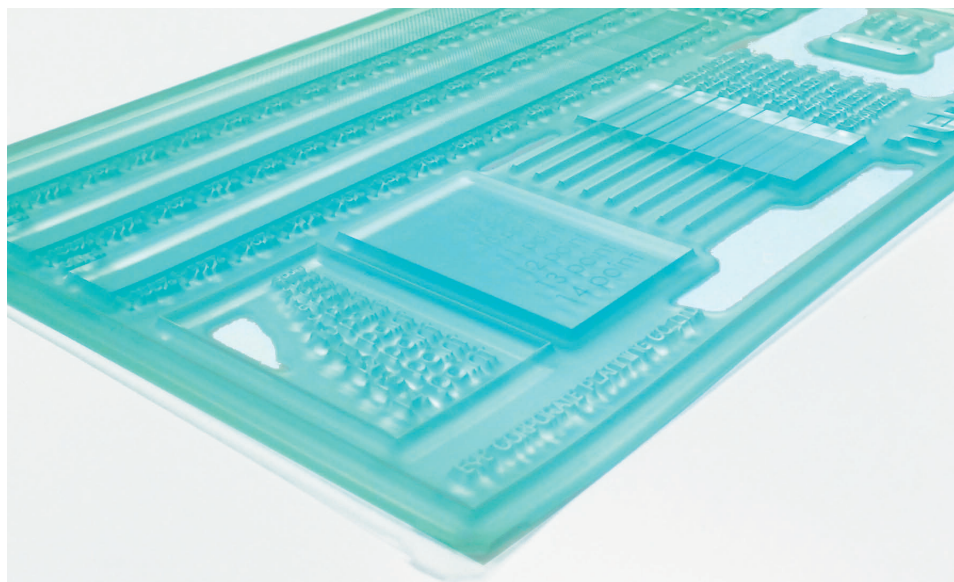


アイ企画 株式会社

製版工程やデザインツール
デジタル化の先駆者オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン

樹脂刷版

主な事業内容

段ボールや紙袋などの
パッケージデザインと印刷版製作

主な取引先(納入先)

日用品メーカー、食品メーカー、
段ボールメーカー

主な製品

フレキシ印刷用刷版、
パッケージデザイン

業務
内容フレキシ印刷向けメーンに
デザインや刷版製作

アイ企画は、段ボール紙や紙袋などのパッケージデザインや、印刷版(刷版)を製作。量販店や食品スーパーなどで見かける飲料・日用品の段ボール箱、大手ファーストフードチェーンのラップ、紙、角底紙袋などの商品包装・梱包用のフレキシ印刷向けをメーンに事業を展開する。他社に先駆けてデジタル製版工程を導入し、デザインツールのデジタル化を確立するなど、これまで業界の発展に大きく貢献してきた。もともとは昭和43年に関西を中心に天然ゴム刷版を手がける七つの中小企業者が集結、大阪製版センター協業組合として、大阪府守口市で創業。昭和60年に同地で分社、設立して再スタートを切った。

強み

「TPD」を開発・導入
印刷業界の仕事を変革

強みは業界ナンバーワンクラスの樹脂版生産能力と、独自の「TPD(トータル・パッケージング・デザイン)」システムに由来する開発力だ。TPDの開発・運用は、会社設立の目的でもあった。運用するデザイン会社と製版会社の中間的な立場をめざして開発・導入し、

デザイン業務と印刷結果(校正刷)を直結・一元化する画期的なコミュニケーションツールだ。印刷にかかわる仕事の進め方を変革し、多くのクライアントに採用されている。また大型製版機3台を有し、樹脂版生産能力は業界平均月産能力(面積)の3倍以上と安定したデリバリーを実現。受注から出荷までのリードタイムは業界最速の1日を達成している。

大幅短
大時短「意匠図」で情報一元化、
迅速・的確に意思疎通

段ボール紙への印刷はブランドオーナーのイメージと印刷結果に齟齬が生じることが多く、これをTPDによって解消した。意匠図と呼ばれる実寸大の段ボールの現物に近い照合用の薄い紙を介して、ブランドオーナーや印刷会社との迅速・的確な意思疎通が可能で、情報を一元管理できる。同社はこの図でデザインを確認し、樹脂刷版を作り印刷会社に納品する。意匠図は段ボールのようにかさばらず、デジタルデータでもやり取りができ、かつ、校正や照合作業を大幅に短縮し、急なデザイン変更などにも対応しやすい。現在は印刷再現性の高いTPDカラーシステムを運用し、一段の効率化を図っている。

社長あいさつ

代表取締役社長
徳永 修一さん

フレキシ印刷向けが事業の9割を占めており、既存設備とは別に国内では数少ないフレキシデジタル製版設備も増設しました。SDGs(持続可能な開発目標)の観点から、脱フィルムなどの流れにあり、環境に負荷をかけにくいフレキシ印刷が注目されています。こうした変化に乗り遅れないように、先を見ずしてビジネス領域の拡大をめざします。

主な保有設備

- 液状樹脂版製造装置一式
20版/日産 3台
- 板状樹脂版製造装置一式
10版/日産 2台
- インクジェット校正システム
20枚/日産 4台

大阪
03

住 所 / 〒570-0041
守口市
東郷通3-3-5
T E L / 06-6992-1771
F A X / 06-6992-1777
創 業 / 昭和43年 6 月
設 立 / 昭和60年10月
資本金 / 3,000万円
従業員 / 70名



デジタル製版機



「TPD」カラー出力機



<http://www.eyenet.co.jp/>